事務応援の主な任務および
能登半島地震における対応概要について

2024年 3月11日（月）

総務部（防災・危機管理）

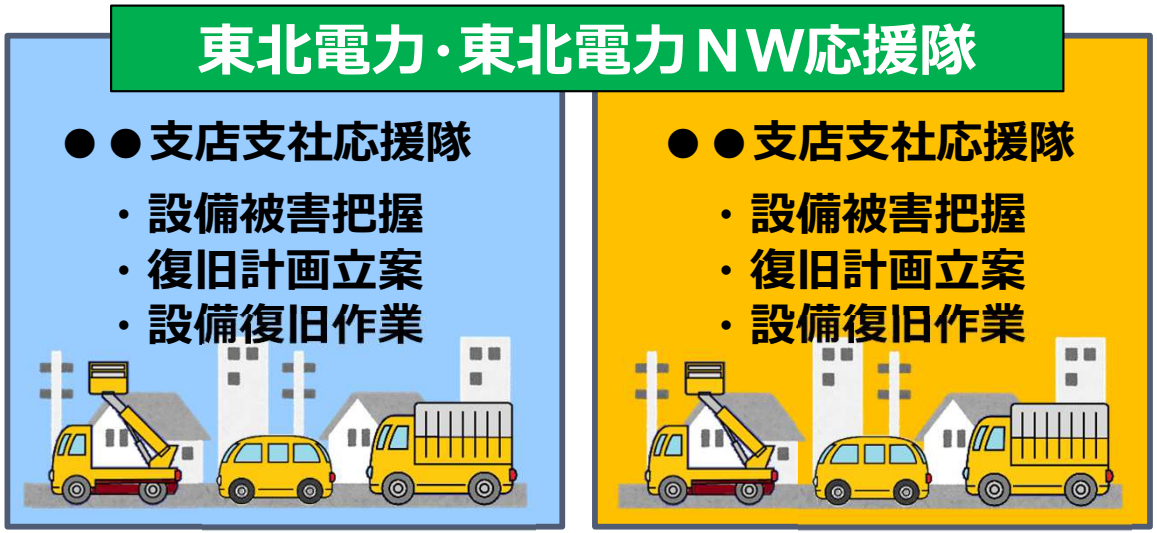
１．事務応援の種類と業務内容

1．事務応援の種類と業務内容



«社内事業所・他電力会社»

応援



※基本的には被災していない事業所から優先して派遣

早期復旧のためには，サポート等を行う事務応援の活躍も必要不可欠！

＜事務応援の種類＞

①対策本部応援	②リエゾン派遣応援	③配電帯同応援

【参考】
東北電力と東北電力NWが連携して災害対応できるよう，**「災害時における相互協力に関する協定」**を締結。

1．事務応援の種類と業務内容

＜参考＞本店・本社による事務応援の必要性

非常災害対応の課題

2023年7月以降の組織整備
・第一線事業所の拠点化
・上位機関への業務集約
↓
第一線事業所の事務系人員減少

非常災害体制の見直し

・第一線事業所の非常災害対策体制は拠点電力センターを核とし，ブロック電力センターとの一体による広域的な運用

・支店・支社が同一県内に存する本店・本社直轄機関の協力を受ける形で県内全域の非常災害対策活動を総括

事務応援の派遣は支店・支社が中心となるが，本店・本社・直轄機関からもしっかり支援し，東北電力・東北電力NWが一体となって対応することで災害対応力の維持・向上を図る必要がある。

１．事務応援の種類と業務内容

①対策本部応援

今回の能登半島地震で活躍！

被災事業所において，**非常災害対策本部の業務をサポート**すること。

＜具体的な業務内容＞

ａ．本部会議運営補助

ｂ．情報収集・発受信

ｃ．食事の必要数把握・手配・配達・回収

ｄ．宿泊の必要数把握・手配・周知

ｆ．現地拠点本部の設営・運営支援

ｅ．その他事務局指示による業務



能登半島地震発災時の本部会議の様子

１．事務応援の種類と業務内容

②リエゾン派遣応援

被災自治体へ**リエゾン派遣の要員として応援派遣**すること。

＜具体的な業務内容＞

ａ．被災自治体災対本部が把握する被害情報の収集

ｂ．被災自治体災対本部から当社に対する要請事項の収集

ｃ．被災自治体災対本部から関係機関に対する要請内容の収集

ｄ．被災事業所災対本部から被災自治体に対する情報提供および要請





秋田県でのリエゾン派遣訓練の様子

１．事務応援の種類と業務内容

③配電帯同応援

今回の能登半島地震で活躍！

配電部門が復旧応援隊を派遣する場合における**作業員の世話役として一緒に同行し，復旧活動や生活全般をサポート**すること。

＜具体的な業務内容＞

ａ．食事の必要数把握，手配，配達，回収

ｂ．宿泊の必要数把握，手配，周知

（テント設営の場合は，設営・撤収支援を行う。）

ｃ．生活必需品等必要物資の調達

ｄ．被害・復旧状況の記録（写真撮影等）

ｅ．資材の運搬

ｆ．その他事務局指示による業務



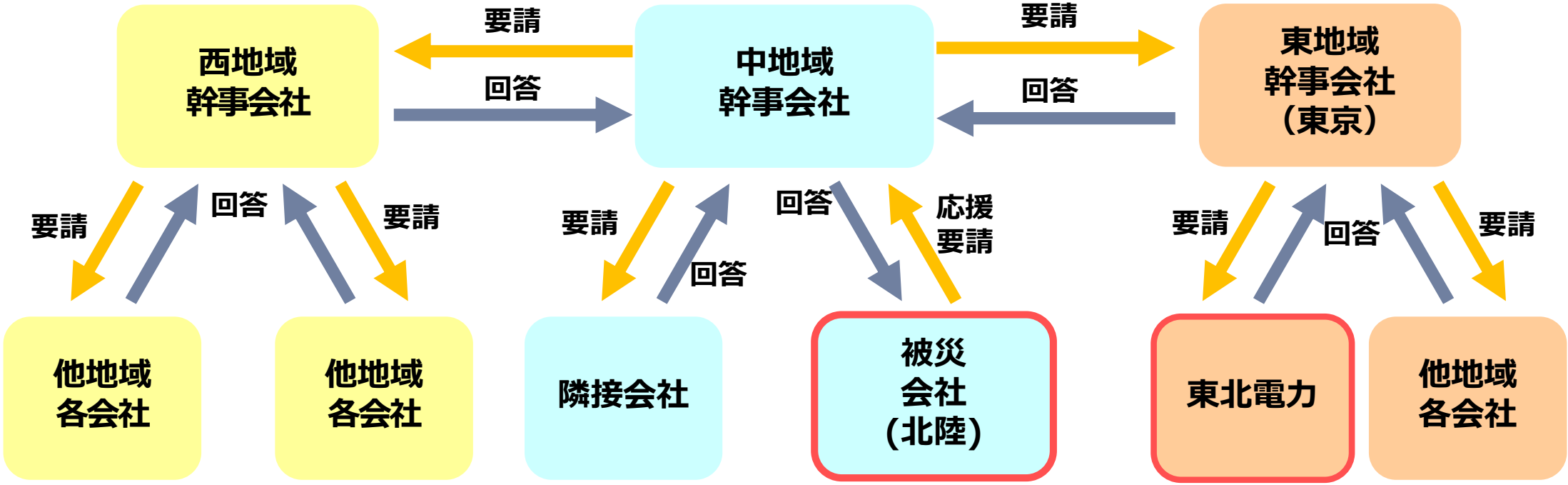
食料や飲料の手配・配達

1．事務応援の種類と業務内容

＜参考＞電力会社間の応援体制

- ◆ 被災した電力会社が，必要な資機材や人員の応援派遣を速やかに各社に要請できるよう，電力各社で復旧応援に関する協定を締結。
- ◆ 全国を東地域（北海道・東北・東京），中地域（中部・北陸・関西），西地域（中国・四国・九州・沖縄）の３地域に分けて，それぞれの地域に幹事会社を設けている。

《能登半島地震の応援体制》

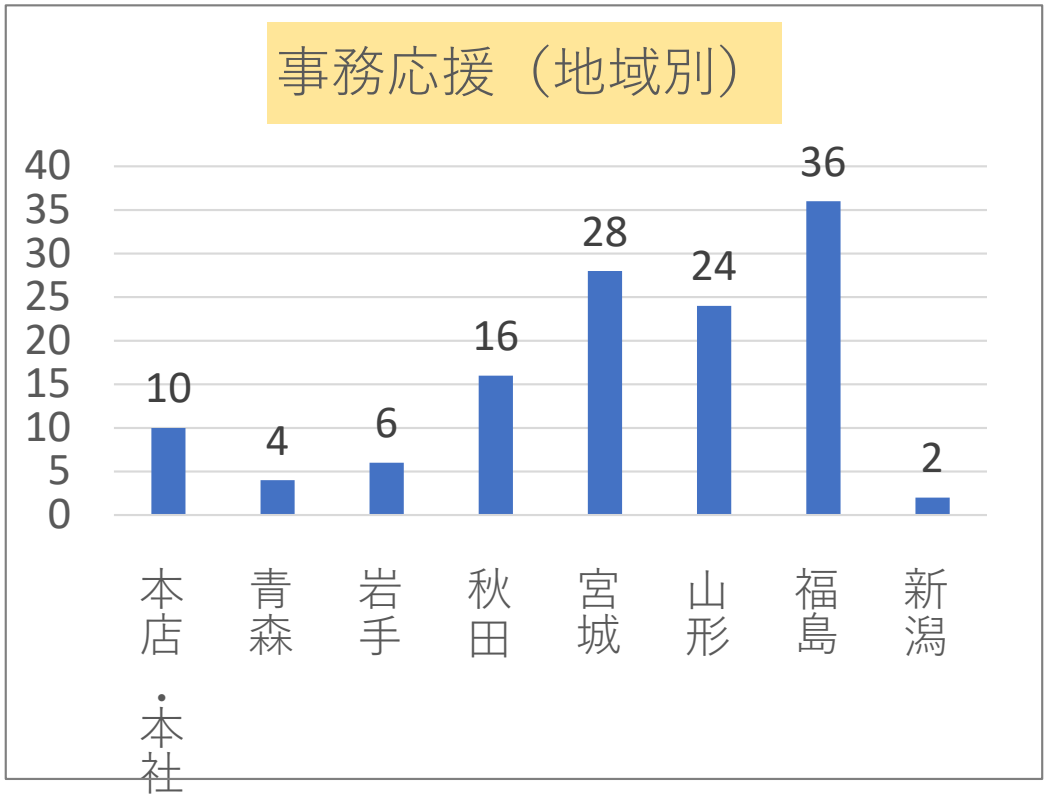


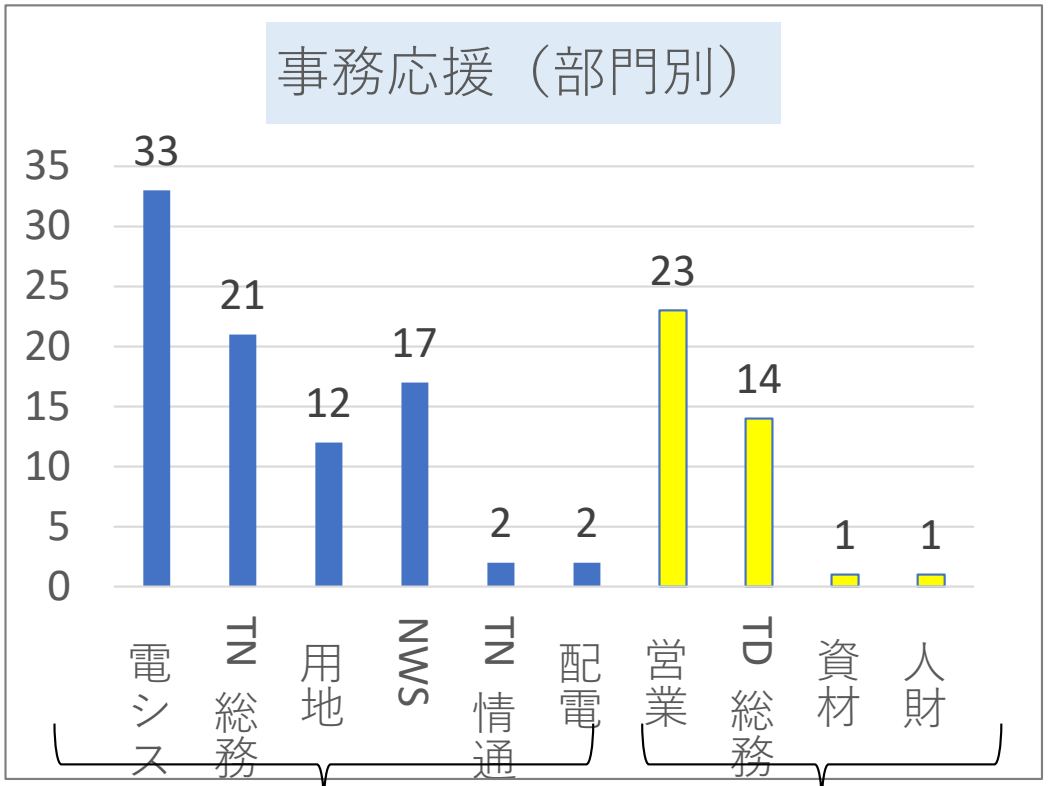
２．能登半島地震における対応概要

2．能登半島地震における対応概要

（1）事務応援の派遣状況

事務応援内容	TD社員	TN社員	合計
対策本部応援	5名	36名	37名
配電帯同応援	34名	51名	89名
合計	39名	87名	126名





2．能登半島地震における対応概要

（2）具体的な業務内容

対策本部応援

配電応援隊の現地拠点本部における各種サポート

＜主な活動＞

・現地拠点本部の確保

・エアーテントや装備品の設営・管理・撤収

・本部の運営支援　など



エアーテント設置

配電帯同応援

各支店支社配電応援隊の各種サポート

＜主な活動＞

・食事の手配・提供

・仮設トイレの清掃・汲み取り先への運搬

・ゴミ等の回収・運搬　等



仮設トイレ清掃



温かい飲み物の提供

2．今回の事務派遣の概要

＜参考＞東北電力ネットワーク「令和６年能登半島地震に伴う他電力応援対応」オンラインミーティングでの意見



TN役員　等

今回の災害対応では後方支援がとても充実・進化している印象。今後さらに後方支援の充実を図っていくことが必要となってくるのではないか。

また，事務系のみならず，実際に技術部門として普段現場対応をしている技術系社員（電力システム部他）が後方支援に携わることで，作業現場に即した支援が出来たのではないか。

東北電力グループの強みは，技術系の直営力の高さと後方支援隊の知見の積み重ねだと思う。レジリエンス強化に向け，引き続き皆さんのご協力をお願いしたい。

災害派遣において，切っても切り離せなかったのが，後方支援隊の活躍。

長期間および長時間にわたる運転中に簡単に口に出来るおにぎりや栄養補助食品を用意し，寒い現場で復旧作業から帰ってきたホテルでは，温かくなるように工夫された弁当を手配いただいた。加えて，現場で利用する可搬型のトイレを金沢市内で調達し，道路混雑を避けて夜間帯に現地まで運搬し設置いただく等，現場第一線で活動する我々に寄り添った活躍をしていただいた。

後方支援に当たっていただく方々のスキル継承を今後もお願いし，技術部門社員が災害復旧に専念できる体制維持にご協力をお願いしたい。



電力ｾﾝﾀｰ 配電工事課長
（設備改修班隊長）